

とやま

県広報とやま

2005

2月号

No.410

富山県

特集 「元気とやま」を担う企業を応援します

クローズアップ 地震への備え、大丈夫ですか



全日本弓道遠的選手権大会で優勝した菊池真理子さん(後列中央)。講師を務める大島町弓道教室の皆さん(前列)と卒業生の皆さん(後列)。

【新世紀産業機構を活用して成功した挑戦者たち】

県内初、高齢者の住宅改修を助言するNPO法人を設立

ウェルネット 理事長 雄川友美子さん
高岡市中川園町 ☎0766(25)0584

動機 高齢者が住み慣れた我が家で暮らせる環境をつくりたい

機構の活用法 コミュニティビジネスの講習会を受講

活用結果 昨年5月にNPO法人を設立。介護保険制度などの説明も含めて、経済的で利用しやすい改修方法を提案している。



改修先の使い勝手を確認する雄川さん（左）。玄関の段差部分に一段低いステップと手すりを設けた。

脱サラし念願の創業

とっぺ屋本舗 代表 竹川光男さん
富山市今泉 ☎076(420)4400

動機 創業して、大豆を丸ごと使った豆腐を製造したい

機構の活用法 助成金制度(設備資金に充当) 専門家派遣制度(包装・パンフレットのデザインや販売戦略のアドバイス)

活用結果 平成15年10月開業。きぬ・もめん豆腐のほか豆乳も製造販売。昨年店舗を移転し、営業を拡大。



大豆が丸ごと入っているのでオカラが出ず、栄養豊富な手造り豆腐。

生活用品から最先端の医薬バイオ分野へ進出

(株)リッチェル
富山市水橋桜木 ☎076(478)2155

動機 新分野へ進出したい

機構の活用法 「とやま医薬バイオクラスター」に参加

活用結果 従来のガラス製やシリコン製のものより低コストで量産可能な樹脂製の細胞チップを開発。産学官の共同研究で、業務拡大に成功。



チップにはリンパ球とほぼ同じサイズの穴が配列され、1つの穴に入るリンパ球は1つだけ。その結果、数十万種もあるリンパ球から病原菌(抗原)に有効な特定のものだけを取り出すことができるようになった。

「元気とやま」を担う企業を応援します

～(財)富山県新世紀産業機構の役割～

県では、(財)富山県新世紀産業機構と一体となって、商品・技術開発、新分野への事業展開、販路開拓、創業など、企業の様々なニーズに応えるとともに、IT・バイオ・深層水などの成長産業の振興に取り組んでいます。



商品開発に成功、営業にもチャレンジ!

戸出物産(株) いまき
製品販売部課長 今城利彦さん
高岡市戸出 ☎0766(63)0001



下請けだけでは生き残れないと思い、吸水性が良く、軽くて丈夫で乾きやすいポリエステル製おむつを開発しました。元来水を吸わない素材なので到底無理だと思いましたが、新世紀産業機構を活用して県工業技術センターと共同研究し、生地の開発に成功しました。

おかげで、数年間休眠していた縫製工場が再稼働し、タオルやバスマット、バスマットなどの新商品開発につながりました。未知の分野だった営業にも挑戦中で、新世紀産業機構から紹介された専門家の指導のもと、ドラッグストアや通販などへ販路を拡大中です。



◀おむつを足がかりにして、バスマットなど10数種の商品が誕生。

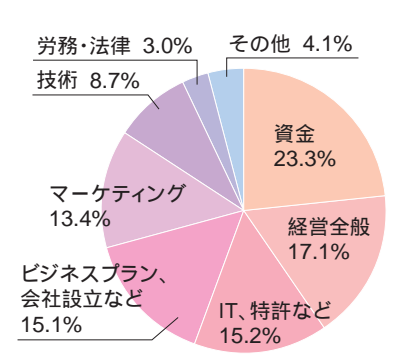
(財)富山県新世紀産業機構の組織

- ▶産学官連携推進センター
産学官の交流促進 技術移転の促進 共同研究プロジェクトの推進 など
- ▶中小企業支援センター
経営革新支援 資金・設備支援 起業・新事業創出支援 など
- ▶環日本海経済交流センター
経済交流のための情報提供 貿易投資の相談 環日本海地域連携の強化 など

新世紀産業機構は、今後とも「元気とやま」を担う事業者の皆さんを応援していきます。どうぞお気軽にご利用ください。

特集についての問合せご意見は
(財)富山県新世紀産業機構 企画管理課
住所/富山市高田527
☎076(444)5600

新世紀産業機構 中小企業支援センター 相談受付状況(平成16年)



企業経営のあらゆる「困った」に対応
県内産業の活性化のためには、県内企業の九九・八%を占める中小企業の「元気」が不可欠です。
(財)富山県新世紀産業機構は、県内産業を担う中小企業を応援する機関です。豊富な知識と経験を有した専属の相談員が常駐し、資金や経営、会社設立、商品開発など、企業の様々な相談に一つの窓口で対応できる「ワンストップサービス」を提供しています。また、専門知識が必要な場合は民間の専門家を派遣するほか、幅広いネットワークを活かして販路開拓を支援するなど、個々の企業ニーズに応じた支援に取り組んでいます。

あなたの挑戦をもっと応援します
県内経済の活性化や雇用拡大には、新規創業やベンチャー企業の育成が重要です。このため、若者や女性、熟年世代をはじめとした起業の支援にも力を注いでいきます。
また、中国をはじめとした環日本海地域に事業展開し、貿易や投資をしよつとする企業への支援を、昨年十月から始めました。

産学官連携で富山らしい新産業・新技術創出をめざす
新世紀産業機構では、産学官が連携して、富山ならではの新産業の育成・振興にも取り組んでいます。
現在推進している「とやま医療バイオクラスター」は、本県に蓄積された「ものづくり」の技術と「くすり」の伝統を融合した大型研究プロジェクトです。一人ひとりの体質にあった病気の診断や治療が可能になり、長期的には、富山オリジナルの医薬品の開発を目指します。
また、ものづくりを支える製造業を活性化させるため、技術開発を支援するとともに、新商品創出のための公募事業などを実施しています。

地震への備え、大丈夫ですか



富山県は、他県に比べて災害の少ないイメージがありますが、昨年発生した新潟県の大震災は決して他人事ではありません。今一度、地震対策について確認してみましょう。

自主防災活動のすすめ

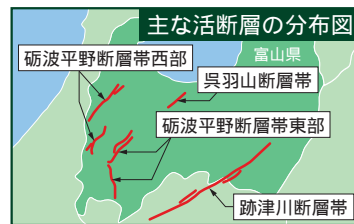
高屋敷1区防災会
(富山市)

阪神・淡路大震災を契機に、平成10年に自主防災組織を結成。102名が所属し、応急手当や炊出しなど年5回の訓練・研修のほか、定期的に放水訓練や夜回りも実施。子どもには紙芝居で分かりやすく説明するなど、手法も工夫している。

災害時の対処法は、繰り返さないとすぐ忘れてしまう。「やって楽しい」が活動を継続し、地域の結束を高める秘訣だという。



バケツリレーによる初期消火訓練



今後30年以内の地震発生確率とその規模

	地震発生確率	規模
砺波平野断層帯東部	0.05～6%	M7.3程度
砺波平野断層帯西部	0～3%	M7.2程度
呉羽山断層帯	0.6～1%	M7.2程度
跡津川断層帯	ほぼ0%	M7.9程度

M=マグニチュード
(文部科学省 地震調査研究推進本部公表資料より)

富山県でも起こりうる大地震
昨年発生した新潟県中越地震、十年前の阪神・淡路大震災は、いずれも「活断層」と言われる地盤のズレ目が動いたことが原因でした。本県には三十六の活断層が確認・推定されています。今後三十年以内

非常用品チェック表

非常持ち出し袋

一人に一個用意する(男性15kg、女性10kg程度) すぐ持ち出せる場所(玄関脇など)に置く



飲料水(1日1人3リットル)・非常食 ともに3日分程度。定期的に入替・補充する。



ナイフ・缶切り



救急薬品 (ばんそうこう、包帯、ガーゼ、常備薬など)



ラジオ(予備の電池)



懐中電灯(予備の電池)



厚手の手袋



通帳・印鑑・現金 (10円玉の小銭を多めに)



マッチ・ライター・ローソク



運動靴



下着類・着替え用衣類



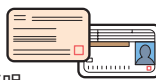
女性用品・ミルク・紙おむつ・ほ乳瓶など



ヘルメット



タオル



身分証明 (運転免許証、保険証など)



毛布



消火器

しかし、県民の災害に対する備えは十分とは言えません。今年度の県政世論調査によると、県民のおよそ半数が大地震などの災害に対して「特に備えはしていない」と回答しています。また、地域住民が自主的に防災活動を行なう「自主防災組織」の組織率は、平成十六年で三十六・三%と、全国平均の六十二・五%を大きく下回っています。

県民の低い防災意識
に地震が発生する確率は最大で六%と予測されていますが、これは自宅が火事になる可能性(三十年で二%)よりも高い数字なのです。

問合せ 県庁消防防災課
076(444)3187

普段から備えましょう
大地震では道路などの交通基盤が被害を受けるほか、火災や事故が多発するため、救援までに時間がかかることを覚悟しなければなりません。いざというときに冷静に行動し、救援まで自分の身を守るためには、普段からの備えが重要です。日頃から家庭で話し合い、非常用品などを備えておきましょう。また、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持って、地域の防災活動に積極的に参加するようにしましょう。

とやまの やる気・元気

求めるものは無心
弓で自分を高める



菊池 真理子さん

一九五七年生まれ 大門町在住

全日本弓道遠的選手権大会で優勝した大学生の時に弓を始め、結婚して休止していたが、平成五年に十二年ぶりに再開。近所に弓道場ができたことがきっかけだった。以来練習を重ね、数々の大会で入賞している。大島町中学生弓道教室の講師も務める。

弓を構え、ゆっくりと引き、的をねらう。張りつめた空気。静かな呼吸。次の瞬間、放たれた矢が静寂を破る。「引いている瞬間は何も考えていない。的と自分だけ。この瞬間が好きなんですよ」と、菊池さんは目を輝かせる。しかし、試合になるといろいろな思いが心を乱す。「これを当てれば勝てる」と思う。すると矢はずれる。小さな心の動きを矢は映し出すのだ。「その一本で負けるんです。いかに平常心でいられるかが一番大事です。悔しい思いを重ね、昨年十月、遠的の全日本大会で決勝に進んだ。ねらう的は六十メートル先。矢は四本。「練習を思い出して、自分が注意するところだけを考えていました」

周囲や結果のことは一切考えていなかったという。終わってみると逆転で優勝。みんなから祝福されてようやく「えっ、やったんだ」と実感した。弓道は、足を構えるところから連続した形が決められている。的の結果は自分を映す鏡。だから、自分を高めていくことができるという。「練習で大切にしているのは、形が崩れて我流にならないようにすること。見ている人が感動できるように射を引くことが夢なんです」。菊池さんは、選手として、講師として、そして主婦として多忙な日々を過ごす。「夢って、かなつんですよ。努力すれば必ず報われるんです」。彼女は、いつも夢の的に向かっている。

12月

- 2日 12月定例県議会(～16日)
- 4日 石井知事のタウンミーティング・高岡会場



高岡商工ビルに県民約500名が集まり、石井知事と意見交換した。

- 11日 高校生きらめきフェア(～12日)
- 16日 富山地域7市町村の合併決定書交付
- 17日 北西太平洋行動計画本部事務局(NOWPAP RCU)所長着任



トッカーリン所長が富山に着任し、石井知事を訪問した。

- 28日 夜間、休日の職員の宿日直開始

1月

- 12日 新規大学等卒業予定者就職支援セミナー
- 13日 県福祉サービス第三者評価推進機構第1回総会
- 15日 石井知事のタウンミーティング・砺波会場
- 17日 県新世紀行政改革懇談会



県の行革への取り組み状況や今後の施策について、学識経験者などで構成する委員が意見を交わした。

- 18日 中小企業との緊急対話(県東部地区)

2月

今後の予定

- 9日 学卒合同就職面接会
- 10日 ベンチャープラザとやま
- 23日 県立大学フォーラム2005
- 28日 2月定例県議会(～3月24日)

Q

昨秋はクマによる人身被害が多発しましたが、今後県ではどのような対応を進めていくのですか。

A

昨秋のクマの出没原因としては、猛暑や台風等の影響でクマのエサとなるドングリなどが不作だったこと、里地里山の環境が変化したことなどが挙げられています。

しかし、クマの生態や木の実の豊凶周期との関係などについてはまだ明らかにされていないため、県では次のような対応を進めています。

クマに発信器を取り付け、冬眠前後の行動や生息域などを把握(実施中)

GPSを用いて詳細な生態調査を実施(予定)

エサとなるドングリについて、気象から受ける影響や生産量などを調査(予定)

また、県民の皆さんの安全とクマの保護管理の両面について、学識経験者による検討委員会で分析・検証を進めます。本年夏ごろまでには「ツキノワグマ保護管理暫定指針」を策定し、普及啓発を図るとともに各種対策の実進を進め、さらに中長期的な指針を策定する予定です。

クマは国内の数少ない森林性大型哺乳類であり、自然界を構成する大切な一員です。県では、富山県の豊かな自然環境を保全し生物多様性を確保するためにも、クマと人とが共生できる環境づくりを、県民のみならずとも進めていきたいと考えています。



問合せ 県庁自然保護課 ☎ 076(444)3397

Q

最近、交差点やバス停にスコップが設置されているのを見かけますが、何のためですか。

A

これは、地域住民や通行人の皆さんに、信号やバスの待ち時間を利用して歩道の簡単な除雪に協力していただくこと、県が今冬から試行している「雪と汗のひとかき運動」のために備え付けたものです。

歩道の除雪は、県民の皆さんからの要望が多いのですが、車道のように大型の除雪車で取り除くことが難しい

のが実情です。そこで、小さな子どもやお年寄りにも歩きやすい歩道づくりのために、通学路にある交差点やバス



停などを富山市内14箇所、高岡市内8箇所、新湊市内1箇所選定し、除雪用スコップを取り付けました。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

問合せ 県庁企画用地課 ☎ 076(444)3315

これからも
いろいろな声
をお寄せください。

はがき

〒930-8501(住所記入不要)
「県民のひろば」係

県民相談電話・
FAX・Eメール

TEL.076(431)3131
FAX.076(444)3300
E-mail.koho@pref.toyama.lg.jp

県政クイズ

(財)富山県新世紀産業機構は、中小企業の経営相談に一つの窓口で対応できる

「**サービス**」を提供しています。(を埋めてください。)

ヒント：1~2ページをご覧ください。

応募方法

はがきに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、〒930-8501(住所記入不要)富山県庁広報課「県広報とやま2月号クイズ係」まで。

締切/2月16日(水)必着)

正解者の中から10名の方に、パスマットを1枚プレゼントします。(提供 戸出物産(株))

(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。色はこちらにおまかせください。なお発送予定日は2月18日(金)です。)



全国で紹介された 富山県

富山から「おもいっきり」生放送

みのもんたさんが新湊市中央文化会館から生放送。会場で富山湾のブリがさばかれる中、ブリの健康効果について紹介された。また、放送中に冬にはめったに見られないしんきろうが現れ、「奇跡だ」と会場を沸かせた。



●北日本放送テレビ「午後は おもいっきりテレビ」11月29日

遭難者を無線で捜せ

山岳遭難者の場所を無線で突き止めて早期に救助する発信器「ヤマタン」の改良が、県立大学の岡田敏美教授のもとで進められている。周波数帯の割り当てなどの環境整備と発信器の小型化が課題だが、今年3月には実験結果がまとめられるという。



●「朝日新聞」12月15日

とやまの情報 お伝えします!

【2月の県政番組・お知らせ】

こんにちは富山県です | 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00～11:30

6日 もっともっと元気な富山を
13日 雪と富山の話
20日 北方四島と富山とのつながり
27日 ベンチャープラザとやま

きときと キッズ! | 富山テレビ
フォーカス・イン | 毎週日曜 9:00～9:30

小学生(5、6年生)をスタジオに迎え、県の魅力などをクイズ形式で楽しく紹介。
<http://www.bbt.co.jp/>

富山メモナイト | チューリップテレビ
毎週火曜 21:55～21:58

県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

とやま県聞録 | FMとやま
毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」
2月26日の朝刊各紙に掲載予定

富山県PR情報誌「みやあらく(とやま道楽)」
富山県の魅力を広く紹介した雑誌です。富山県刊行物センター、県内主要書店等で発売中。(500円/冊(税込))

富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

郷土の良さを再発見していただくため、全国で紹介された富山の話題を紹介します。このほかにも県庁広報課のホームページでお知らせしています。

郷土料理をアレンジして料理大賞を受賞

南砺市(旧平村)の中本知花さんが、12月5日に開催された家庭料理の全国コンテスト「NHKきょうの料理大賞全国大会」の新ふるさとの料理部門で料理大賞を受賞。応募総数5,600件から強豪を抑えて受賞した作品は、五箇山地方に伝わる青大豆をすりつぶした報恩講料理「じんだ」を3種衣のコロッケにしたもの。「失われつつある味を残すため、子どもにも食べやすいように工夫した」と中本さん。皆さんも作ってみては?



●NHK衛星第2「きょうの料理大賞!」12月25日

●NHK総合「きょうの料理大賞!」12月29日

食べてみよう! 情報

今回は中本さんが受賞されたレシピを紹介します。

じんだの3種衣コロッケ



材料・分量 2人分

じんだ

青大豆 1合
干しわらび 10本
人参 1/3本
くるみ 15g
砂糖、塩、しょうゆ

溶き卵 適量

衣	適量	
	下地の粉	外側の衣
A	小麦粉	コーンフレーク(砕く)
B	小麦粉+カレー粉	春雨(5mm～1cmに切る)
C	小麦粉+抹茶	ワンタンの皮(細長く切る)

下ごしらえ

青大豆は一晩水につけて戻し、干しわらびはゆでて冷ましておく。

- 青大豆を圧力鍋で手で潰れるくらいまで煮て、熱いうちにミキサーなどで粘りが出るまで混ぜる。砂糖大さじ1、塩小さじ1/2で味付けする。
- 水に砂糖・しょうゆ(適量)を入れて煮たて、1cmに切ったわらびと千切りにした人参を加えてやわらかくなるまで煮る。
- 1に水気を切って冷ました2と砕いたくるみを混ぜてよくこねる。
- 形を整えた3に下地の粉、溶き卵、外側の衣をA、B、Cの3種類の組み合わせで付け、180度の油で揚げる。

